

2020年9月18日

環境大臣  
小泉進次郎様

## 香害をなくす連絡会（以下7団体）

特定非営利活動法人 日本消費者連盟  
特定非営利活動法人 ダイオキシンの環境ホルモン対策国民会議  
特定非営利活動法人 有害化学物質削減ネットワーク  
認定特定非営利活動法人 化学物質過敏症支援センター  
香料自粛を求める会  
日本消費者連盟関西グループ  
反農薬東京グループ

### 香害をもたらす家庭用品の規制を求める要望書

日頃より、環境行政にご尽力いただき厚くお礼を申し上げます。

私共「香害をなくす連絡会」は、柔軟仕上げ剤など香り付き製品のにおいによる健康被害“香害”に取り組む市民団体で構成される連絡会です。近年、香り付き製品のにおいによる被害者は増加の一途を辿っており、学校や職場に通えず、不登校や退職・休職を余儀なくさせられる人も出ています。当連絡会は2019年12月から本年3月まで「香りの被害についてのアンケート」を実施し、9332名の方から回答を得ました。結果を精査した結果、回答者の内7000名以上の人が香り付き製品により健康被害を訴えていることが分かりました。

香害の被害者は、行政やメーカーに柔軟仕上げ剤や香り付き合成洗剤の販売中止、開発中止を求めると同時に、柔軟仕上げ剤など家庭用品への香りや消臭成分を含むマイクロカプセル類の使用中止を求めています。

2019年5月、私共は環境大臣宛に「G20に向け家庭用品へのマイクロカプセルの使用禁止を求める」緊急提言を提出しました。マイクロプラスチックによる海洋汚染問題が深刻化しており、抜本的対策が求められている中、化粧品や歯磨き剤などに含まれるマイクロビーズに関しては削減への取り組みが始まっていますが、マイクロカプセルについては何も規制がされていません。

さらに、マイクロカプセルの問題は、この度のコロナウイルス対策の一環としても重要性が再浮上してきました。新型コロナウイルスの感染経路は主に飛沫や接触ですが、空気感染も起こる証拠が出ています。空気中を漂う微粒子（エアロゾル）によっても感染し、コロナウイルスはエアロゾル状態で3時間近く生存するといわれています。そして、柔軟仕上げ剤などに含まれるプラスチック製のマイクロカプセルも微粒子として空気中を舞い、ウイルスがそれに付着する可能性があります。私たちは常時それらを吸い込む危険性に曝されています。

大気、海洋、土壌のプラスチック汚染や、人体への影響、さらには、ウイルスの運び屋としての空気中の微粒子をこれ以上増やさないためにも、柔軟仕上げ剤など家庭用品へのマイクロカプセルの使用中止を命じるよう再度要望します。恐縮ですが、9月30日までにお返事を頂きたくよろしくお願いしま

す。

## 記

### 要望

1. 柔軟仕上げ剤などの家庭用品へのマイクロカプセルの使用を禁止してください。

### 要望の理由

柔軟仕上げ剤などには、香りや消臭成分を閉じ込めるプラスチック（合成樹脂）製のマイクロカプセルや、香料や消臭成分などを包接するシクロデキストリン等の環状のデンプン様化合物が含まれています。それらはマイクロサイズやナノサイズの微粒子として、洗濯後の衣類等に付着し、刺激によってカプセルが破壊されて中身が放出される仕組みです。

- ① 河川や海のマイクロプラスチック汚染を深刻化させます

衣類に付着しなかった大半のカプセルは下水に流れ、河川や海に流入します。

- ② 大気中に有害物質が飛散する恐れがあります

マイクロカプセルの壁材としてはメラミン樹脂、ウレタン樹脂などが多用されており、カプセルが破れる際にカプセル壁剤から有害物質が環境中に飛び散る恐れがあります。

- ③ 欧州はマイクロカプセル禁止を予定

2019年1月欧州化学物質庁（ECHA）は、欧州域内における「意図的に製品に入れられたマイクロプラスチックの規制に関する提案」を欧州委員会に提出し、その中にはマイクロカプセルが含まれており、洗剤などに含まれる香りマイクロカプセルについても、5年の猶予は与えているものの、禁止すべきという姿勢を打ち出しています(注1)。しかしながら、日本では、上述のマイクロカプセル類については、規制がなされていません。

- ④ 改正「海洋漂着物処理推進法」に基づき使用抑制に努めるべき

貴省では「マイクロプラスチックに（中略）マイクロカプセル（中略）も含まれ得る」とのご見解を示しておられます。（2019年5月22日、参議院、消費者問題に関する特別委員会）改正「海岸漂着物処理推進法」第十一条の二、「事業者は、（中略）通常の用法に従った使用の後に河川その他の公共の水域又は海域に排出される製品へのマイクロプラスチックの使用の抑制に（中略）努めなければならない」に照らせば、柔軟仕上げ剤や合成洗剤などへのマイクロカプセル配合は、明らかに、これに違反した行為です。

- ⑤ 新型コロナウイルス対策の一環として

米国医学雑誌によると、新型コロナウイルスは、ステンレス鋼やプラスチックの表面で最大72時間生存し、ボール紙の表面では最大24時間です。また、エアロゾル（空气中を漂う微粒子）の状態では、3時間生存します（注2）。柔軟仕上げ剤などから放出されて空气中に浮遊するマイクロカプセルの多くは、プラスチック製です。それらは空气中で新型コロナウイルスの運び屋になる可能性があり、また、それらカプセル等の微粒子は、容易に私たちの肺の奥まで吸い込まれます。新型コロナウイルスの拡散防止のためにも、家庭用品へのマイクロカプセル類の使用を禁止すべきです。

注1: ECHA, ANNEX to the ANNEX XV RESTRICTION REPORT PROPOSAL FOR A RESTRICTION, 2019 Jan,30.

注2: Neeltje van Doremalen et al. Aerosol and Surface Stability of SARS-CoV-2 as Compared with SARS-CoV-1. N Engl J Med 2020;382. この論文発表のニュースは、2020年3月18日付BBCニュース「新型コロナウイルス、表面でどれくらい生きられる?」、3月19日付CNNニュース「新型コロナウイルス、プラスチックなどの表面で最長3日間生存」で報道。

添付資料

- ・アンケート調査結果
- ・米国疾病予防センター（CDC）が2009年に出した文書
- ・香料自粛を呼び掛けている都道府県・および市町村・区の一覧表

連絡先・問い合わせ先：日本消費者連盟

「香害」担当 杉浦 陽子

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207

tel : 03-5155-4765

fax : 03-5155-4767

mail : [sugiura@nishoren.org](mailto:sugiura@nishoren.org)